

昔々のそお市

むかしむかし

郷土を知る

社会教育課 文化財係 ☎ 099-482-5958



第4回

曾於市に遺る太平洋戦争の記憶

芙蓉

芙蓉之塔（大隅町月野八合原）は太平洋戦争末期、かつてこの地にあった岩川飛行場から出撃し、帰還しなかった87名を含む芙蓉部隊員105名が祀られている慰霊塔です。

特攻やむなしという気運が高まる中、指揮官・美濃部正少佐はこれに異議を唱え、もっと合理的な戦法として夜間銃爆撃を主張しました。

それが上層部に受け入れられ、静岡県藤枝基地で編成された特殊部隊が「芙蓉部隊」です。部隊名は藤枝基地から見える富士山の雅称「芙蓉峰」にちなんで名付けられ、岩川飛行場から沖縄方面に出撃しました。

飛行場であることを悟られないよう、昼間は滑走路に苜草を敷いたり、牛を放牧したり、移動式家屋や樹木を立てたので、終戦まで米軍に見えさることは無かったといえます。

戦後、芙蓉部隊の元隊員や遺族、関係者らによる慰霊祭を契機に、芙蓉之塔が建立されました。

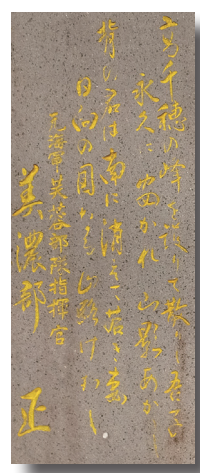
曾於市内には他にも、地下発電所（大隅町月野太田尾）や設営隊司令部壕（大隅町岩川仲町）などの戦

争関連遺跡が残されています。その中でも、覚照寺（大隅町岩川本町）は本堂の屋根や柱、廊下などにグラマン（米軍の戦闘機）の機銃掃射による弾痕が保存されており、大変貴重です。平成27年には天井板から当時の弾丸が発見され、本堂内で展示されています。

今年で太平洋戦争終結から75年が経過しました。戦争の記憶を継承していくためにこれらの戦争遺跡を含め、曾於市に残る文化財を大切に守っていく必要があります。

高千穂の峰を護りて散りし吾子
永久に安かれ山影あかし
背の君は南に消えて若き妻
日向の国なる山路けわし

芙蓉之塔に刻まれた美濃部正少佐の碑文



元海軍芙蓉部隊指揮官
美濃部 正

曾於市埋蔵文化財センター（芙蓉之塔隣）には太平洋戦争関連の展示コーナーを設けています。戦時中の体験談や当時の写真等をお持ちの方はぜひ社会教育課（文化財係）または、曾於市埋蔵文化財センター（099-471-2977）まで情報提供をお願いします。

